

水野優也さん応援レポート

未来に翔たく若きチェリストの響演 2016年11月3日(木・祝) 紀尾井ホール

16名のチェリストが集結

爽やかな秋晴れの11月3日・文化の日。
紀尾井ホール前には多くのお客様が列をなして並んでいる。

本日は、ここ紀尾井ホールで、倉田澄子氏のチェロマスタークラス受講生を中心に集まったチェリストたちによるチェロ・アンサンブル「未来に翔たく若きチェリストの響演」が開催される。ゲストには財団奨学生OBでもある宮田大さん、賛助出演の先輩方3名、水野優也さんをはじめとする若手チェリスト達11名、総勢16名のチェリストによる演奏会である。

プログラムは全10曲。2台チェロ、チェロ3台とピアノ、チェロ8台での演奏や、全員によるチェロ・アンサンブルなど、様々な形式の演奏が予定されている。

水野さんは、ほとんどの曲に出演。この日のために、早朝から夜遅くまで、びっしりと練習を重ねていたとのこと。「・・・5曲目のソッリマ『チェロよ歌え!』では、宮田大さんとともにソロ・チェロを務めます。・・・2cellos のようなカッコいい曲です!」と、忙しいなか元気なメールを届けてくれている。

未来に翔たく若きチェリストの響演

宮田大をゲストに迎えて
倉田澄子チェロマスタークラス受講生を中心に
集まったチェリストたち

11/3(木・祝)
14:00開演(13:30開場)
紀尾井ホール

【出演者】
宮井 瑛斗 熊本 一希 鈴木 あさひ 水野 優也 森田 啓佑 香月 麗
佐山 裕樹 築地 杏里 濱田 遥 川岡 光一 小林 幸太郎
【賛助出演】
海野 幹雄 玉川 克 宮地 晴彦 ヒア/鹿羽 弘晃

【チケット】
一般 3,500円(税込)
学生 2,500円(税込)
※13歳未満
※未成年者保護者の同意
※会場内飲食禁止

ご予約・お問合せ: 南サウンド&ミュージッククリエーション TEL.03-5797-5415 (FAX) http://www.south-c.co.jp
チケット取り扱い: チケットぴあ TEL.03-70-02-9999 (伊コード: 302-770) 主催: 南サウンド&ミュージック クリエーション

会場の紀尾井ホールは、日本を代表する音楽ホール。毎年12月の財団スカラシップ・コンサートの会場でもある。音響の素晴らしさは定評のあるところ。リサイタルや室内楽、室内オーケストラの演奏に利用されている。



チェロ曲の数々を多様な編成で



舞台上には半円状に16脚の椅子。フククの「組曲」で演奏会がスタートする。倉田澄子先生を含めた全16名。第1チェロから第4チェロまで各々4名ずつの厚みのある構成。水野さんは第1チェロ。半円の左端に位置を取る。チェロ・アンサンブルでは、よく弾かれる美しい曲が、オーケストラ風の編成により重厚な音色で奏でられる。

2曲目は、ポツパー：2つのチェロの為の組曲。楽器も同じ、高校も同窓、コンクールもいつも一緒という同い年の友人・森田啓佑さんとの2台チェロによる演奏だ。水野さんは第2チェロ。主に伴奏を弾く。「…この曲はメロディーが第1チェロ、伴奏が第2チェロと役割がはっきりわかれており、そこが難しい曲です。2台で4台分の音を出す箇所もあります」。個性際立つしっかりとした演奏からは、万全な準備をしてきたのであろう

水野さんの真摯な姿勢が伝わってくる。



次の出演は5曲目、ソツリマの「チェロよ歌え!」。2台のソロ・チェロと6台のチェロ、水野さんは、宮田大さんとともにソロ・チェロという重要なポジションを務める。

妖しくメロディックなフレーズをたっぷりに歌いながら、2台のチェロが絡み合う。タンゴやジャズの香りも感じるような、たしかになんとも「カッコいい曲」。消え入るような音色に合わせ照明を徐々に落とし、終曲とともに真っ暗という演出が、洒落た雰囲気さらに印象付ける。

現在も活躍するチェリスト兼作曲家のソツリマ、現代風のこの曲を弾くのは初。「…ご本人の音源もあったので参考にしたりして練習しました」と水野さん。



後半は本日ピアノを弾いてくださっている鷹羽弘晃先生が作られた「蛍なす ほのかに聴きてー日本の旋律による音風景」を14台のチェロでスタート。なるほど日本の旋律はチェロの音色とぴったりなのだと感じる。優しく、柔らかく。あとで聞いたら、鷹羽先生は高校時代には担任の先生でもあられたそう。

6曲目のブルッフ「コル・ニドライ」。宮田大さんのソロと若手4人の組み合わせ。美しい曲、美しい音色。「…宮田さんの音が美すぎて、演奏しているのに我を忘れてしまうくらい聴き入ってしまいました」と水野さん。

次は15台でのビゼー「カルメン組曲」、おなじみのメロディーが大迫力で響き渡る。水野さんはトップのポジション(コンマスの)。合図を送ったり、全体を引っ張ったり、大役を果たしていた。

ラスト2曲、カザルスの「東方の三賢人」と「サルダナ」は全16台での演奏。水野さんは2曲ともトップポジションを取る宮田大さんの左隣に位置。宮田大さんの弓使いも息遣いも、そしてその音色もはっきりと感じることのできるポジションで、臆すことなく姿勢よく、堂々とラストまで弾ききっていた。

大満足の客席からは大きな拍手。それにこたえて、アンコールには、ふたたび16台のチェロでのクレンゲル:「賛歌」。

全11曲。
チェロの美しさ、
重厚さ、幅の広さを
たっぷりと伝えてくれる見事な演奏であった。



演奏中の写真ご提供: カメラマン 松本好高氏

たくさんの気付き。刺激。吸収していきたい



終演後、宮田大さんと

終演の数日後、水野さんに話を聞いた。

ー重要パートを担うなど大活躍；

「・・・ソツリマが印象深いです。宮田大さんとの2人ソリスト。宮田さんは推進力が凄かったです。同じ音でも勢いが違うので、それに付いていこう、でも主張もしていこうと意識しながら頑張りました」。

3日間のリハーサルの前日には、宮田さんのご自宅での合わせの機会も。

「・・・とても貴重な時間でした。たくさんのことを吸収することができたと感じています」

「・・・カザルスの三賢人とサルダナは、宮田さんの隣で弾いたのですが、もう音色が素晴らしくて。自分もその音色に合わせたいと思ってしまうような音色で。ただただ、すごい！と感嘆してしまいました」

「・・・サルダナで見せていただいた、宮田さんの勢い、示し方。トップとしての“示し方”が明確でわかりやすく、本当に付いていき易くて」・・・敬愛する先輩・宮田大さんの真隣での演奏機会、大いに刺激を受けたと語ってくれた。

「・・・カルメンはトップだったので、みんなを引っ張る立場なのですが、思うように引っ張れていませんでした。合図の出し方、タイミング、まだまだなんだろうなと感じました」

「・・・演奏自体には満足しています。へんに硬くなることもなく、落ち着いてというか楽しんで弾くことができました」

「・・・同じ楽器の先輩方の音を、リハも含めて長時間にわたり聴くことができました。今回の一連の機会ですべてに耳も発達したと思います。本当に素晴らしい経験でした！」

9月末にはドイツでの講習会に参加。「・・・日本にいては気付かなかったレベルの深さや広がりを感じて帰ってきました」「・・・テクニックだけでなく、いろいろなアイデアを持って、いろいろな音を出せるようにしたい。様々な経験をして多彩な音を出せるような技術を身に付けたいなど、今は強く思っています」

この秋も素晴らしい経験を重ねる日々、水野さん、また聴かせてください！

《演奏会概要》

◆出演

チェロ：

菅井瑛斗・熊本一萌・鈴木あさひ

水野優也・森田啓佑・香月 麗・佐山裕樹

築地杏里・濱田 遥・川岡光一・小林幸太郎

《賛助出演》海野幹雄・玉川 克・宮地晴彦

《ゲスト》宮田 大

ピアノ：鷹羽弘晃

企画・構成：倉田澄子・宮田大



◆プログラム

フンク：組曲 二長調

ポツパー：2つのチェロの為の組曲 Op.16

ポツパー：レクイエム Op. 66

小林幸太郎：Nagi

～2本のチェロとピアノの為の～
ソツリマ：チェロよ歌え！

鷹羽弘晃：蛸なす ほのかに聴きて
ー日本の旋律による音風景

ブルッフ：コル・ニドライ Op.47

ビゼー：カルメン組曲

カザルス：東方の三賢人、サルダナ

◆アンコール

クレンゲル：賛歌



【コンサート・フライヤー(表)】

未来に翔たく若きチェリストの響演

宮田大をゲストに迎えて

倉田澄子チェロマスタークラス受講生を中心に

集まったチェリストたち

倉田澄子

宮田 大



菅井瑛斗 熊本一萌 鈴木あさひ 水野優也 森田啓佑 香月 麗



佐山裕樹 築地杏里 濱田 遥 川岡光一 小林幸太郎

2016/ **11/3** (木・祝)
14:00 開演 (13:30 開場)
紀尾井ホール

【賛助出演】



海野幹雄 玉川 克 宮地晴彦 ピアノ: 鷹羽弘晃

【チケット】
 一般 3,500 円 (税込)
 学生 2,500 円 (税込)
 <全自由席>
 ※未成年児童の入場は
 ご遠慮ください

ご予約・お問合せ: 榊サウンド&ミュージック クリエーション TEL.03-5797-5415 [URL] <http://www.s-music-c.co.jp>
 チケット取り扱い: チケットぴあ TEL.0570-02-9999 (Pコード: 302-770) 主催: 榊 サウンド&ミュージック クリエーション

未来に^{ほび}翔たく若きチェリストの響演

倉田澄子チェロマスタークラス受講生を中心に集まったチェリストたち
～宮田大をゲストに迎えて～

【プログラム】

フンク：組曲

ポッパ：2つのチェロの為の組曲 Op.16 / レクイエム Op. 66

小林幸太郎：Nagi 2本のチェロとピアノの為の

ソッリマ：チェロよ歌え！

鷹羽弘晃：蜚なすほのかに聴きて “日本の旋律による音風景”

ブルッフ：コル・ニドライ

ビゼー：カルメン組曲

カザルス：東方の三賢人 / サルダナ

※やむをえない事情により曲目等が変更となる場合がありますので予めご了承ください。

【出演】

《倉田澄子チェロマスタークラス参加者》

菅井瑛斗・熊本一萌・鈴木あさひ・水野優也・森田啓佑・香月 麗
佐山裕樹・築地杏里・濱田 遥・川岡光一・小林幸太郎

《賛助出演》—— 海野幹雄・玉川 克・宮地晴彦

《ゲスト》—— 宮田 大 (以上チェロ)

《ピアノ》—— 鷹羽弘晃

【企画・構成】—— 倉田澄子・宮田 大



紀尾井ホール

(東京都千代田区紀尾井町 6-5 Tel.03-5276-4500)

《最寄駅》

四ツ谷駅 (JR 線・丸の内線・南北線) 麴町口徒歩 6 分
麴町駅 2 番出口 (有楽町線) 徒歩 8 分
赤坂見附駅 D 出口 (銀座線・丸の内線) 徒歩 8 分
永田町駅 7 番出口 (半蔵門線・有楽町線) 徒歩 8 分

【コンサート・プログラム（表紙・裏表紙）】

未来に翔たく 若きチェリストの響演

倉田澄子チェロマスタークラス受講生を中心に
宮田大をゲストに迎えて



2016年 11月3日(木・祝) 14:00 開演 紀尾井ホール

【企画・構成】
倉田澄子・宮田 大

主催：株式会社 サウンド&ミュージック クリエーション

【コンサート・プログラム プログラム】

PROGRAM

フック：組曲 二長調

David Fench : Suite in D Major

Vc1:海野幹雄・水野優也・森田啓佑・香月麗／Vc2:宮田大・玉川克・小林幸太郎
濱田進／Vc3:川岡光一・佐山裕樹・菅井琢斗・熊本一晴／Vc4:宮地晴彦
鈴木あさひ・島地香里・倉田選手

ポッパー：2つのチェロのための組曲 Op.16

David Popper : Suite for 2 Cellos Op. 16

Vc1:森田啓佑／Vc2:水野優也

ポッパー：レクイエム Op. 66

David Popper : Requiem Op. 66

Vc1:香月麗／Vc2:濱田進／Vc3:島地晴彦 PF:鷹羽弘晃

小林幸太郎：Nagi ～2本のチェロとピアノのための～

Kinako Kobayashi : 'Nagi' for 2 Cellos and Piano

Vc1:小林幸太郎／Vc2:森田啓佑 PF:鷹羽弘晃

ソツリマ：チェロよ歌え！

Gianluca Sottini : Violoncello, s'abbi!

Solo Vc1:宮田大／Solo Vc2:水野優也
Vc3:佐山裕樹・鈴木あさひ・濱田進／Vc4:佐山裕樹／Vc5:海野幹雄／Vc6:香月麗／Vc7:玉川克
Vc8:川岡光一

INTERMISSION

鷹羽弘晃：蜷なすほのかに聴きてー

日本の旋律による音風景

Hiroaki Takabe : On the Look of Light
The Soundscape Based on the Japanese Melody for Violoncello Ensemble

Vc1:玉川克／Vc2:香月麗／Vc3:海野幹雄／Vc4:菅井琢斗／Vc5:濱田進
Vc6:佐山裕樹／Vc7:水野優也／Vc8:鈴木あさひ／Vc9:川岡光一／Vc10:熊本一晴
Vc11:森田啓佑／Vc12:島地晴彦／Vc13:宮地晴彦／Vc14:宮田大

ブルッフ：コル・ニドライ Op. 47

Max Bruch : Kol Nidrei, Op. 47

Solo Vc:宮田大
Vc1:香月麗／Vc2:森田啓佑／Vc3:水野優也／Vc4:小林幸太郎

ビゼー：カルメン組曲

Georges Bizet : Carmen Suite

Vc1:水野優也・海野幹雄・香月麗／Vc2:森田啓佑・菅井琢斗・島地香里
Vc3:佐山裕樹・鈴木あさひ・濱田進／Vc4:小林幸太郎・川岡光一・宮地晴彦
Vc5:宮田大・熊本一晴・玉川克

カザルス：東方の三賢人

Pablo Casals : Les Rois Mages

Vc1:宮田大・水野優也／Vc2:海野幹雄・島地香里・濱田進／Vc3:香月麗・森田啓佑
川岡光一／Vc4:佐山裕樹・熊本一晴／Vc5:宮地晴彦・鈴木あさひ・小林幸太郎
Vc6:玉川克・菅井琢斗・倉田選手

カザルス：サルダナ

Pablo Casals : Sardanà

Vc1:宮田大・水野優也／Vc2:海野幹雄・島地香里／Vc3:濱田進・香月麗
Vc4:森田啓佑・川岡光一／Vc5:佐山裕樹・玉川克／Vc6:熊本一晴・宮地晴彦
Vc7:鈴木あさひ・小林幸太郎／Vc8:菅井琢斗・倉田選手

PROGRAM NOTES

小林幸太郎

フック：組曲 二長調

ダヴィッド・フックは1630年頃にポヘミアのヨアヒムシュタールで生まれ、ドイツで活躍した作曲家である。彼は弦楽、管、音楽を学んでおり、ヴァイオリン、ヴィオラ、クラヴィコード、ギターの名手としても知られていた。
今回演奏される「組曲 二長調」は、本来4本のヴィオラ・ダ・ガンバという楽器のために書かれた43曲の曲集の中から、のちにチェロアンサンブル用に編曲されたもの。そのため、組曲の正式名称は「ソナタ、アリア、イントラダ、アルマンドを含むヴィオラ・ダ・ガンバ(作品集)」という。ヴィオラ・ダ・ガンバはチェロの前身とも言われる楽器で形も異なっていた。

全曲を通して舞曲による構成になっているが、当時は特にフランス風の舞曲が流行っていたこともあり、このようにいくつかの舞曲を合わせた組曲が盛んに作られたそうである。
チェロアンサンブルでの演奏では曲中や曲間に手を加えプレイヤによりオリジナリティが溢れる組曲としても演奏される定評のレパートリーとなっている。

ポッパー：2つのチェロのための組曲 Op.16 レクイエム Op. 66

ダヴィッド・ポッパー(1843-1913)はブラジル生まれのユダヤ系チェコ人である。彼はチェロ奏者兼作曲家で、チェロを学ぶ者にとっての至宝的な練習曲集として数々の作品がある。チェロを知り尽くした作曲家であり、75以上の作品のほとんどがチェロのための作品である。

「2つのチェロのための組曲 Op.16」は数ある2台チェロの作品の中でも最難関クラスの作品と言える。3度やオクターブ等の重畳、高速のアルペジオなどチェロの持てる繊細技巧が凝縮されたこの作品は、1台のチェロに2人で演奏するサウンドを奏でる。チェロの持つ事象の広さやポテンシャルの高さを表現されたチェリストならではの作品。

レクイエムとは、ローマ・カトリック教会の死者の安息を願うミサ曲のことである。モーツァルト、ヴェルディ、フォーレなど、数多くの作曲家たちがレクイエムを遺している。ポッパーの「レクイエム Op. 66」は祭葬作品ではなく、3本のチェロとオーケストラのために作曲された作品。今回はオーケストラ部分をピアノ版に書き換えられた版にて演奏する。

小林幸太郎：Nagi ～2本のチェロとピアノのための～

この「Nagi」は最初的主題のある程度固めた段階で付けた標題です。楽器の中でも非常に高いポテンシャルと表現力を持つチェロの特性と日本国の多様性を活かした作品をコンセプトに作曲させて頂きました。

「なぎ」と聞くとまず「面」を想像されるかと思いますが、最初のテーマは「面」から始まり、そこから日本独特の「面音具奏法」「和声」「舞踏(ひなまつり)の面」「雑子」を曲中で表現しています。歳とりも小さな流れや呼吸に繊細なニュアンスを表現できるチェロと、正確な音数から神秘的な音の重なりを連続して構成する事が出来るピアノが相ざり合う作品となっています。

この作品は福岡先生との委約作品として2015年に初演させて頂きました。初演の際は氏、カストロ・バレン、リッパ共演の演奏でしたが、今回作者の御自身が指揮として演奏させて頂く貴重な機会を頂戴し、倉田選手先生、並びに主催者の皆様方にもこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

ソツリマ：チェロよ歌え！

ジョヴァンニ・ソツリマ(1862～)はイタリアの名チェリスト、マリオ・プレンピの作品解説者として著名なチェリスト兼作曲家である。ブルネロに献呈されたこの曲は、2本のソロ・チェロと弦楽合奏のための作品。

ソツリマの音楽はミニマル・ミュージックの影響を受け、作品はモーダルなメロディと反響的な構造を持つとすることが多い。またこれに加え、クラシック、ロック、ジャズ、ポップス、中東～地中海～アフリカに及ぶ民族音楽など、様々な音楽の素材を自在に取り入れ融合させた独特な作風で知られている。
この曲は3連符の列の間にテーマの予告が現れ、やがて2本のソロ・チェロが人声をおぼえるような妖艶な絡み合いを展開する。2本のソロ・チェロによる技巧的なカデンツァがひとしきり奏され、テーマの再演を経て急転するコードにはいり、最後は静けを減じて静か曲を結ぶ。

鷹羽弘晃：蜷なすほのかに聴きてー

日本の旋律による音風景

チェロアンサンブルのための「蜷なすほのかに聴きて」は2002年に行われた京都・国際音楽学生フェスティバルにおいて桐野チェロアンサンブルによって初演されました。曲は「蜷歌」と「光渡り」2つの部分から成っています。「蜷歌(おとまり)」とは嵯峨のチェンギンを模写化した古い前奏曲のことで、この曲では琵琶や琵琶、太

鼓といった楽器をチェロの音色で表現してみました。そして「光渡り」では、わらべうた「はたるこい」のメロディーが、様々な表情で登場します。

学生時代に作曲したこの曲は、チェロアンサンブルでその後もたくさん再演していただきました。本日も日本の明日の音楽界を担う若き音楽家たちに演奏していただけることを心より感謝しております。(鷹羽弘晃)

ブルッフ：コル・ニドライ Op. 47

マックス・ブルッフ(1838～1920)はケルンに生まれベルリンで没したドイツの作曲家、指揮者、教育者である。ブルッフの音楽は、旋律の豊かさでさまざまな国の民族的素材を取り入れた叙事詩的表現に特徴がある。

この題名は、ヘブライ語で「神の日」という意味で、作曲にあたってブルッフは、ユダヤ教の音楽から二つの旋律を借用している。一つはユダヤ教の祭日であるヨム・キブルで歌われる典礼歌「コル・ニドレ」の旋律。もう一つはジョージ・ゴードン・バイロンの詩に基くアイヴィック・ネイサンが作曲した哀歌「ああ、愛憎のために泣け」である。宗教的でありながら、ブルッフらしく非常にロマンティックな情感をたたえている。

今日では「ワグネル(後奏曲集)番ト短調」や「スコットランド幻想曲」と並びブルッフの名曲の一つである。

ビゼー：カルメン組曲

ジョルジュ・ビゼー(1838-1875)はパリに生まれた近代フランスを代表する作曲家である。17歳ですでに「大作作曲家」と称され、オペラ、管弦楽曲、合唱、ピアノ曲、歌曲など極めて多くの作品を書いた。

「カルメン」はビゼー最後のオペラにして彼の最大の傑作。ヴェリズモ(真実主義)の作品としても知られる。この作品はフランメンコなどのスペイン機械やフランドールなど民族色豊かな旋律にあふれ、真にフランス国民がオペラを愛した作品として、幅広い人気と共にその業績は高く認められている。

また「カルメン」の音楽は、独立した管弦楽曲「カルメン・ファンタジー」として様々な作曲家によって編曲された。今回はヴェルナー・トーマス・エヴァンによってチェロアンサンブル用に編曲された組曲を演奏する。

カザルス：東方の三賢人 / サルダナ

パブロ・カザルス(1876-1973)はスペイン南部カタルーニャ地方の町ベニドレで生まれた。長年忘れ去られていたJSバロック「組曲集ナチコ組曲」の再発見者、現代チェロ奏法を確立した、20世紀最高のチェリストとして有名なピロ、指揮者、ピアニスト、作曲家としても世界中でその名を知られている。

「東方の三賢人」はカザルス自身が作曲したオラトリオ「エルバシセプレ」(劇・聖劇)に含まれるコーラルの1曲で、本人の許可を得てチェロアンサンブルに編曲された。

曲はカザルスの長年の経験を反映し、救世主の到来を暗示する静かで敬虔な響きに始まり、みどり児イエスとその誕生を喜ぶ静かから知ってベツレヘムの眠を覚めた賢人たちの対照の場が感動的な音楽で表現されている。

「サルダナ」は彼の晩年であるカタルーニャ地方に紀元前のギリシャから伝わったという最も大規模な民族舞踏であり、踊り手たちは輪になって手をつなぎ、優雅且つ激しく踊る。カザルスはこの舞踏を好み、1927年、チェロ8パートから成るこの曲を書いた。

【コンサート・プログラム 出演者】

PROFILES



倉田 遼子 (くらた ゆずこ)
桐朋学園大学在学中、フランス政府給費留学生として渡仏、パリ国立高等音楽院卒業、斎藤秀雄、トルトゥエ両氏に師事。日中国交回復記念に中国より招聘され、日本人として初めて2年間の教授活動と演奏。桐朋学園「第7回生江賀」、同大学名誉教授、特任教授。

【賛助出演】



海野 幹雄 (うの かんお)
バロック、古典、ロマン派から現代音楽まで幅広いレパートリーを持ち、ソロ、アンサンブル、全国のオーケストラへの首席客演等幅広い活動を繰り広げている。1stアルバム「海野幹雄 plays シューマン」も好評。オフィシャルHP: <http://mikio-unno.com/>



玉川 克 (たまがわ きく)
「視・聴・触・知」才能教育研究会にてチェロをはじめ、宇都宮短期大学附属高校音楽科を経て、桐朋学園大学カレッジ・ディプロマ・コース修了。2005年よりリサイタルを開始。2011年にはバッハの無伴奏組曲全曲を取り上げる。

倉田 遼子 チェロ マスタークラス 受講生

小林 幸太郎 (こばやし こうたろう) 作曲
桐朋学園大学音楽学部卒業、チェロを倉田遼子氏に師事。桐朋チェロアンサンブルの常任アレンジャー、コンサートマスターを経て、現在チェリスト、作曲者として国内外多数のアーティスト、団体と共演。音楽制作に携わっている。



築地 裕里 (つきぢ ゆみり)
9歳よりチェロを始める。第67回全日本学生音楽コンクール高校の部奨励賞受賞。2016年、成績優秀者による学内の室内楽演奏会に出演。現在、松波恵子氏に師事。桐朋学園大学音楽学部チェロ科2年在籍。



佐山 裕樹 (さやま ゆき)
14歳第14回泉の森ジュニアチェロコンクール高校生以上の部金賞。第68回全日本学生音楽コンクール東京大会チェロ部門高校の部第3位。チェロを倉田遼子氏に師事。現在、桐朋学園大学音楽学部チェロ科2年在籍。



水野 優也 (みずの ゆうや)
第13回東京音楽コンクール弦楽部門第1位及び種別賞。第83回全日本音楽コンクール第3位。江副記念財団第45回奨励賞。河地正美、常光聡、倉田遼子の各氏に師事。桐朋学園大学ソリスト・ディプロマ・コース(特待生)1年在籍。



鈴木 あさひ (すずき あさひ)
第16回泉の森ジュニアチェロコンクール高校生以上の部金賞。第68回全日本学生音楽コンクール高校の部入選。2016年東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業。現在、桐朋学園大学音楽学部カレッジ・ディプロマ・コース1年在籍。チェロを倉田遼子氏に師事。

【ゲスト】



宮田 大 (みやた だいき)
日本音楽コンクール等の日本を代表するコンクールで優勝。第9回ロストロポヴィッチ国際チェロコンクールで日本人として初優勝。宮田豊、倉田遼子、フランス・ヘルメルソンの各氏に師事する。使用楽器は1698年製ストラディヴァリウス“Cholmondeley”(上野製菓株式会社より貸与)



宮地 晴彦 (みやぢ はるひこ)
桐朋学園大学、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマを経て、ミュンヘン音楽大学大学院を卒業。第68回日本音楽コンクール第3位。チェロを倉田遼子、ワルター・ノーマス各氏に師事。アウグスブルグ市立歌劇場を経て、フランクフルト市立歌劇場にて首席チェロ奏者を務める。2013年に帰国。



栗羽 弘晃 (たしか ひろあき)
作曲・ピアノ
2001年桐朋学園大学作曲理論学科卒業。2009年よりバリエーション・マルに留学。第68回日本音楽コンクール作曲部門入選。ピアノ演奏で1999年第9回日本室内楽コンクール第1位(ヴァイオリンとの共演)。

川岡 光一 (かわおか こういち)

桐朋学園大学卒業。チェロを田中美光、森純子、倉田遼子各氏に師事。現在、クラシックギタリストの上田孝光氏とDuo Gelz(デュオ ガイツ)を結成。桐朋学園広島音楽教室の室内楽講師。呉市文化振興財団登録アーティスト。



濱田 通 (はまだ はるか)

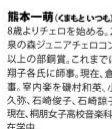
5歳より桐朋学園子会のための音楽教室にてチェロを始める。泉の森ジュニアチェロコンクール小学生の部、中学生の部金賞。桐朋学園音楽部門よりチェロアンサンブル・サイトウ奨学金を受ける。全日本学生音楽コンクールチェロ部門高校の部第2位。チェロを常光聡、倉田遼子、堤剛の各氏に師事。現在、桐朋学園大学音楽学部2年在籍。



香月 麗 (かづき りか)
泉の森ジュニアチェロコンクール高校生以上の部金賞。刈谷国際音楽コンクール一般の部弦楽奏部門グランプリ。全日本学生音楽コンクール大学の部第1位。日本放送協会賞。桐朋学園大学音楽学部ソリスト・ディプロマ・コース2年在籍。倉田遼子氏に師事。



森田 啓佑 (もり たけふみ)
高校2年生で全日本学生音楽コンクールと日本音楽コンクールの同時2冠を達成。徳永賢、黒柳賢、若谷貴も受賞。倉田遼子氏、宮田大氏に師事。桐朋学園大学音楽学部ソリスト・ディプロマ・コース1年(特待生)。日本演奏連盟奨励生。



熊本 一朗 (くまもと ひとし)
8歳よりチェロを始める。2016年第16回泉の森ジュニアチェロコンクール高校生以上の部銀賞。これまで花崎薫、石崎翔子各氏に師事。現在、倉田遼子氏に師事。室内楽を磯村和英、小森谷泉、飯田久弥、石崎俊子、石崎諒子各氏に師事。現在、桐朋女子高校音楽科(男女共学)3年在学中。



菅井 瑛斗 (いさい えいと)

桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)2年。第16回泉の森ジュニアチェロコンクール高校生以上の部金賞。第10回横浜国際音楽コンクール弦楽奏部門高校生以上の部第1位。現在チェロを倉田遼子氏に師事。室内楽を山崎伸子、磯村和美氏に師事。



【コンサート・プログラム 歩み】

HISTORY

倉田 澄子 チェロ マスタークラスの歩み

「基礎テクニックの重要性和個性ある音の魅力求めて」というテーマで、2003 年、緑の眩しい白馬アウゼホールで、チェロを学ぶ学生達と合宿をスタートしました。

先日、懐かしく当時のプログラムを見ていたら・・・其の後もフランスやドイツ、イギリス、スイスなどで皆さんが活躍を続けているのが分かり、嬉しい限りです。合宿の奮闘買った小林幸太郎君は、今回の演奏会ではチェロだけでなく編曲の活躍に加えて作曲もして、当時の可愛いオカッパ頭からは想像が出来ません！

朝食から夜の消灯時間まで一晩に行動すると、普段気が付かなかった生徒さん達の性格も手に取るように分かり、レッスン時に大変役立ちました。白馬でのマスタークラスは VIDEO にもなりました。



2005年 受講生コンサート(白馬アウゼホール)

そして5年間続いた白馬のセミナーの後は、山中湖のペンションセロに5年間集まりました。オーナーの堀口ご夫妻はいつも美味しいお料理を作って下さり、アマチュアチェリストのご主人は大変ご理解が有り、助かりました！



2012年 ペンション セロにて

2010 年の発表会では、特に有望な生徒には東京で演奏する機会を作り、当時、中学 1 年の佐藤晴真君と森田啓佑君、中学 2 年の香月麗さん達が選ばれ、ソロの他、最後には 3 人でポピラーのレクイエムなどを演奏。2012 年、13 年には、朝明や芸高、芸大を始めとして、広島や京都、名古屋から集まった参加者達によるチェロアンサンブルコンサートを開催しました。



2011年に東京で演奏した3人



2010年 かくし芸大会

余談ですが、合宿では恒例になった「かくし芸大会」では、私が年甲斐もなく先頭に立って皆を巻き込み、各自の出し物やゲームをして楽しみました！ 実は、チェロ以外でも思いついて表現出来ることが必要だと思ったのです。こうして才能を秘めていた若いチェリスト達と共に過ごした日々は、私の一生の宝物となっています・・・。



2010年 かくし芸大会

今回は倉田大さんと賛助出演の3人の方達が、お忙しい中を皆の仲間に入り、楽しくアンサンブルを引率して下さいましたことは、素晴らしい思い出となることでしょう。特に廣羽弘晃さんと小林幸太郎さんの作品も楽しみでした。

このセミナーをずっと支えて、現在もオーケッドミュージックサロンで毎年マスタークラスを続けて頂いております株式会社サウンド & ミュージック クリエーションの河合由里子様とスタッフの皆様は、心からの感謝を表します。

チェロアンサンブルの響きが、会場の皆様の心に届きますように願っています・・・。

倉田 澄子



2016年 レッスン風祭(オーケッドミュージックサロン)